

㈱スタイルテック殿

大崎 八幡宮
宮司 小野目 博昭

拝啓 時下ますますご清祥のことと存じます。

さて、このたびの東日本大震災に際しましては、過分なるお見舞い並に被災地支援物資のご送付等を頂き、誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

当宮におきましては、震災当日は社殿及び境内建物及び構築物の調査の後、職員とその家族の無事の確認に追われましたが、その後の文化財建造物保存技術協会並に仙台市文化財課による社殿その他境内建物の詳細なる調査の結果、「文化財としての価値は少しも失われていない」とのこと、灯笼の倒壊、社殿の壁のずり落ち、ひび割れ、組み物の落下、社務所及び神馬舎の土壁崩落等があったものの、被害自体は最小限でとどめる事ができました。

その後は、職員一丸となって救援活動に力点をおき、震災直後より、避難所である隣接小中学校への飲料水の供給、各方面からの支援物資の受け入れを開始し、県内沿岸部を中心とした各避難所へ東奔西走し、微力ながら物資支援のお手伝いをさせて頂き今日に至っております。

本震災以来一ヶ月が経過する中で、未だに震度6クラスの余震が続いており、被災者の避難生活は長期化すると考えられ、現状を見る限りでは支援活動は寧ろこれからと痛感しております。

最後になりましたが、今後とも変わらぬご厚情を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら書中にて御礼申し上げます。

敬 具

平成二十三年四月十五日